

『新型コロナウイルス』 危機管理として市の取組は



濱口 正曉 議員

健康福祉部長 世界規模、国・県規模の大流行が予測されている。厚生労働省指導により熊本県の行動

濱口 大型地震に匹敵する社会不安を来すが、危機管理体制の取組及びその啓発は。

健康福祉部長 鳥インフルエンザにかかった鳥類の全てが死亡してしまいう重篤な症状をきたすものを高病原性鳥インフルエンザと言っている。症状としては、東南アジアなどの事例で、人と同様高発熱・咳に加えて下痢も見られる。人への感染での推定は全人口の25%が感染、死に到る割合はアジア風邪（S32年）レベルの中等度では感染者の0・53%、スペイン風邪（T7年）レベルの重篤では、2・0%を推測している。合志市に当てはめると、感染者が1万3500人、死者が中等度で72人、重症度で270人と推定されます。

濱口 ここ数年鳥から鳥への高病原性鳥インフルエンザがいつ人から人へ感染し、大流行（パンデミック）新型インフルエンザに変異するかも知れないと言われている。その病状および致死率は。

市長 現時点で41項目中実施済みが32項目で、完成・7・5割完了を勘案し78%の進捗状況である。時代の変化部分を修正し、自治基本条例の中に住民参画も謳い込み、スマートインター事業、大津植木線バイパス問題等の調査・設計にも繋げたい。

市長のマニフェスト達成度は
濱口 市長に就任され3年経過し、平成21年度は仕上げの年となるが、広域的な取り組みを含めて決意を。

計画 各保健所単位での取組となる。合志市は菊池保健所管轄のもと、健康づくり推進課で予防や啓発を行い、総務課で災害対策対応をすることとしている。今年10月頃までに合志市行動計画策定を予定している。



鳥インフルエンザ発症事例

脱アナログ!!



吉永 健司 議員

吉永 姉妹都市（友好関係）を結ぶ計画は。
市長 現時点では、総合計画には無い。まちづくりに役立つなら、やる気が無いわけではない。

一 友達の輪

吉永 最先端技術のセミコンを抱える本市がアナログでは如何か。
市長 市民の利便性、有益性を総合的に考え研究することを指示する。



友達の輪

吉永 納税率の現状維持、徴収率向上にクレジットカード支払いを取り入れては。
市民部長 費用対効果を考えると時期尚早と考える。
吉永 当然そう答えると思った。しかし、徴収率は年々下がる傾向がある。携帯電話で物が買える時代である。市民の利便性を考慮すべき。
市民部長 将来的には考えるべきであり、研究課題にしたい。

吉永 農業をはじめ産業、文化、教育交流による活性化に役立つと思うが。
市長 提案されたことを含め価値はあると思うが、現時点では見出ししていない。

今後の財政 運営について

青木 伸一 議員

青木 100年に一度といわれる世界恐慌で、法人市民税も大きく落ち込むことが予想されるが、22年度以降の財政計画の見直し予定はあるのか。

総務企画部長 現在の財政計画は、平成19年12月に策定しており、今後の地方財政措置も大きく変化すると予測されるため、平成22年度中に平成23年度から平成27年度までの第2期財政計画の策定を行いたい。

青木 行財政改革の中で経費削減に取り組まれているが、合志市では県などで判明した不正経理はなかったのか、又調査はされたのか。

総務企画部長 職員への聞き取り調査は3月6日に終了したが、全く無かった。取引業者については、取引額が10万円を超える115業者に対し今日までに文書で回答するようお願いしている。現在98業者から回答をもらっているが、現在のところ該当はないという結果だった。

ウォーキングコースの設置 とまちづくりについて



青木 合併から丸3年が過ぎたが、中々新市としての一体感が見えてこない。21年度設置予定の健康ウォーキングコースを広報紙等で住民に周知し、市内循環バスと相互利用も含めて、住民交流のまちづくりに役立てる考えはないか。

総務企画部長 弁天山ウォーキングコースについては、循環バスとウォーキングコース・ユパレス弁天山の相互利用が可能と思われます。他のコースとあわせて市広報紙で特集記事を組みなどして広く周知を図っていききたい。

青木 医療費削減のためにウォーキングコースを利用した健康づくりは考えられないか。
健康福祉部長 今後もまちづくり、健康づくりの観点から積極的に関係部局と連携を図ってきたい。



春のウォーキング

児童・生徒の 通学路について

丸内三千代 議員



丸内 児童生徒の通学指定道路とは。
教育委員会事務局 小学校については通学路の指定はあるが、中学校においては指定はない。自宅から一番安全な道路を通うように指導している。ただし、通ってはいけない道路の指定は指導している。

丸内 通学路以外での事故等については、保険扱いの対象となるのか。

教育委員会事務局 通学時の事故については対象となるが、学校帰り道などで途中遊びにいったりして、全く違う場所での事故であった場合は、対象とならない可能性が高い。

丸内 西合志中学校裏門東側の市道が通学路であるにも関わらず、舗装等もはげ歩きにくいし、防犯灯もなく不安である。整備して頂きたい。



西合志中学校裏門（東側）

マイバック運動について

丸内 改正容器包装リサイクル法によりレジ袋対策が求められているが、合志市民のマイバック持参率はどの様に捉えているか。また、市としての取り組みが見えてこないか。

市民部長 市民に限った調査は行っていないが、スーパー等によると少ないところで16%、多い所で35%との事である。ここ1〜2年の間にマイバック持参率35%までにしたい。
丸内 熊本市ではレジ袋削減推進協議会を立ち上げマイバック持参率50%を目指しているが、合志市はどうするのか。

市長 この運動は、レジ袋削減につながるもので市民に啓発していきたい。